

各位

2014年3月10日

KNTーCTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：森川  
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成26年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比89.0%と下回ったものの、学生団体は同123.5%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同95.8%と前年を僅かに下回った。企画旅行については、ヨーロッパ方面などのロング商品が若干苦戦したものの、前年比98.9%と微減にとどまった。個人旅行については前年比101.0%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比99.0%と、前年を僅かに下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比107.9%、学生団体は同118.7%と好調に推移し、団体旅行合計では同114.2%と前年を大きく上回った。企画旅行については同113.5%と前年を大きく上回り、個人旅行についても同109.8%と前年を上回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、113.0%と前年を大きく上回った。

外国人旅行は、前年比117.5%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前年比106.9%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年複数の大型SITツアーを取り扱った反動もあり、前年比90.2%となり、学生団体については特に修学旅行以外の団体の取扱い増加により同123.5%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で同100.0%と前年と同水準となった。

国内団体については、一般団体は前年比108.8%、学生団体は同118.7%と前年を上回った結果、国内団体旅行合計で前年比114.7%と大きく伸長した。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比102.9%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、中国四国、首都圏方面が好調を維持しているのに加え、東北、信州、関西、九州、沖縄方面も好調であった。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、SITやクルーズを中心として好調に推移し、取扱額で前年比115.9%と前年を大きく上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、年末年始のツアーが好調であったことに加え、式年遷宮後初めて新年を迎えた伊勢神宮や出雲大社、北海道・東北方面などが好調を維持し、同125.3%と前年を大きく上回った。バス旅行部門も、伊勢神宮や年末年始商品、初詣ツアーを中心に同121.1%と前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、「ひとり旅」が国内・海外ともに好調であり、同117.7%と大きく上回った。

以上